



チーム担任制で学校が変わる！

～「ひとり」から「チーム」へ 新しい学びのカタチ～

【Before】これまでの「ひとり」の悩み

担任一人が
すべてを抱える負担

「～させる」指導と
受動的な児童生徒

UniPath(不登校)対応

保護者対応

事務作業



教師主導

指示待ち



様々な対応を一人で引き受け、
勤務時間の超過や疲弊を招いて
いる。

担任の指示を待って行動する
受動的な児童生徒になりやす
い傾向があった。

休暇や出張への心理的ハードル

不安感



勤務最優先

他の先生に自習をお願いする
ことに抵抗を感じ、休暇を取
得しづらい状況がある。

【After】「チーム」で支える新しいカタチ

業務の分散と
情報の共有

「自律した学習者」
へのステップアップ

チーム対応

情報共有



自分で考えて 自分で決めて
自分で動き出す！



「窓口担当」を決めつつチーム
で方針を立てるため、責任が明
確になり負担が減る。

担任が「伴走者」となることで、
子供たち一人一人がエージェン
シーを発揮できるようになる。

多様な視点での見守りと安心感

複数の先生が関わることで、子供
のよさを多角的に発見し、相談し
やすい環境が整う。

よさの発見



相談しやすい

多角的

安心感

詳しくは[こちらの資料](#)をご覧ください。

「知ってみよう！ チーム担任制」 Q&A

「やってみよう！ チーム担任制」 Q&A

